

2022. Aug.
Reboot 5



アクセスページ

暮らりネット ClariNet

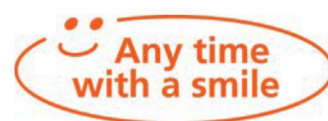
— 特集 —

あらゆる血管病に対応！頼れる古河総合病院の循環器内科
～動脈硬化を予防するおすすめ食材も紹介～



医療法人 徳洲会 古河総合病院

〒306-0041 茨城県古河市鴻巣1555番地 TEL 0280-47-1010(代表)
<https://www.kogashosp.jp/>



■ 循環器内科のこだわり

1. 最新の医療機器を完備

狭心症や心筋梗塞、足梗塞(下肢閉塞性動脈硬化症)といった全身の血管病に対してはカテーテル治療が治療の要になります。が、医師の治療に対するパフォーマンスを最大限発揮するためには、治療機器の性能がとても重要な要素となります。

当科のカテーテル治療機器は、数ある装置のなかでも最新式、かつ高性能モデルとなり、患者様の体位を変えず負担をなるべくかけないため、利点が多いのが特徴です。またSDGs(持続可能な開発目標)にも取り組んでおり、装置の核となる重要部品や消耗部品には新品を使用する一方で、一部の再利用可能な部品については再利用することで環境やコストにも配慮されています。



▲導入した血管撮影装置Artis zee / BA



2. カテーテル治療に注力

現時点において目指しているのが、心臓のカテーテル治療と末梢血管のカテーテル治療(EVT)の実践です。特に下肢のEVTは私の専門領域であり、当院の近隣地域に専門医が少ないこともあり、下腿浮腫、下肢静脈瘤を含め、下肢血管疾患に広く対応をしていきたいと考えています。その実践手段の1つとして月曜日の午前と午後、金曜日の午前中に下肢血管科という外来診療を受け持っています。循環器疾患全般を診ながら、必要に応じてカテーテル治療を行うということに取り組んでいます。

3. 下肢静脈瘤に対する治療が可能

当科は循環器内科であり、主に心臓病や血管病の治療を行っておりますが、私自身は以前より下肢静脈瘤の専門治療(血管焼灼術)にも取り組んできました。下肢静脈瘤とは足の血管(静脈)に血液が溜まることによって、文字通りコブ(瘤)のように膨らんだ状態のことをいいます。ふくらはぎがだるくなったり、むくみやこむら返り(足がつる)、ひどい人は足に潰瘍ができたり黒ずんできたりします。

現在は問題のある静脈をレーザーで焼灼することで完治させることが可能で、30分~1時間程度で治療することができます。昨年循環器内科として赴任した際に、静脈瘤の治療を中心に、もう一つの専門として「下肢血管科」を開設し、既に古河地区でもかなりの方の治療を行っています。全国でまだまだ少ない下肢血管の専門外来です。足のことでお困りの方は一度ご相談ください。



循環器内科を当院に 欠かせない診療科へ

循環器内科 小笠原大介



循環器内科について

循環器内科は、主には心臓の病気を取り扱う診療科です。狭心症や心筋梗塞に対する救急治療や、不整脈や心筋症といったあらゆる循環器疾患に対応できることが特徴です。

呼吸が苦しい、胸が痛い、足が痛い、むくむ、腫れて悩んでいる方は、いつでもご相談いただければと思います。

赴任後1年半を振り返って

私が赴任するまでに当院には2年間、循環器内科に常勤医がいなかったため、その間は入院患者様の受け入れや、外来診療をできていませんでした。

ただ、今では常勤医、非常勤医の複数名体制となり、最新のカテーテル治療装置も揃えることができるなど、充実した体制が整えられています。

とはいえ、当院は循環器診療のハイボリュームセンターではありません。あくまでも地域の医療ニーズに応える総合病院を目指していますので、赴任後はまず、循環器疾患全般に亘って広く診るということを意識していました。また、赴任当初より患者様に当科の存在を知っていただき、そして地域に浸透させていくことにも全力で取り組んできました。

現在もその点は継続中ですが、私の

専門の一つである下肢血管外来を含め、地域の方々に当科(循環器内科・下肢血管科)のことをある程度知っていただけたのではないかと思います。

今後の目標について

これからは、専門領域であるカテーテル治療、特に下肢の血管疾患に関する啓発活動にも注力したいと考えています。そして、その活動を通じて、循環器内科が当院において欠かすことのできない診療科となって、患者様の安心、ひいては地域医療に貢献する原動力となっているというのが、私の理想とする当院での将来像です。

循環器内科 小笠原大介

2000年神戸大学医学部卒業、2004年神戸大学病院循環器内科カテーテルグループ所属(主に阪神間の病院勤務に従事)、2019年 東京都の病院で勤務、2021年古河総合病院に勤務

専門

医学博士、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会、循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会CVIT認定医・専門医、日本脈管学会脈管専門医、下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医・指導医

臨床工学技士のメンバーが語る

小笠原先生ってこんな人♪

都丸 和久

普段は気さくな先生ですが、人間にとって重要な臓器である心臓のカテーテル検査においては、厳しく指導をさせていただきます。また、臨床工学技士の意見も尊重してくれます。

遠田 郁実

治療に対して真剣で、時には厳しい言葉も行き交います。しかし、その厳しい指導により心臓カテーテル検査の危険性や重要性について、みんなが意識できています。



NEW TOPIC 1

管理栄養士おすすめ!動脈硬化予防のための健康食材

食事は、主食+主菜+副菜を揃えて3食規則正しく摂ることが大切です。

朝食はきちんと摂り、夕食は寝る2時間前には食べ終えるようにして、しなやかな血管を目指しましょう!



その1: 野菜・きのこ・海藻類

食物繊維の摂取量を増やすとLDL(悪玉)コレステロールが低下する作用が期待できます。赤、黄、緑とカラフルになるよう選ぶことで様々な栄養素が摂取出来ます。



その2: 魚類(特に青魚)

魚はDHAやEPA等のオメガ3系脂肪酸が豊富に含まれ、LDL(悪玉)コレステロールを減らし、血液をサラサラにする効果があります。特に、さんま、さば、ぶり、いわし等の青魚がおすすめです。



その3: 大豆製品

豆腐、納豆、豆乳などの大豆製品を摂取することで、動脈硬化を進行させるLDL(悪玉)コレステロールの改善効果が期待できます。

NEW TOPIC 2

新入研修の2回目を開催!

2022年7月2日にて、今年の新入職員を対象に2回目となる外部研修を実施しました。入職から3カ月が経過したタイミングで、これまで自分がやってきた仕事の内容、成功・失敗体験を振り返り、他人から自分はどう見られていたかも含めて、自己分析のワークを行いました。

途中、同僚から他己評価を受ける時間では、自分の思っているイメージとはかけ離れた評価をされている職員も複数おり、今後活かせる部分と、改善すべき点の両方を認識できた時間にもなりました。今回のワークで得た反省を活かし、これからの日々で個々人の業務の質をさらに上げていきたいと思っておりますので、温かく見守って頂けたらと思います。

